

教育後援会だより

平成6年8月1日

創刊号

発行／明海大学浦安キャンパス教育後援会

〒279 千葉県浦安市明海8
電話 0473-55-5112

いあいさつ



学長 大束 百合子

教育後援会だよりの創刊を心からお祝い申し上げます。

また、この機会に、これまで物心両面にわたって後援会から大学にお寄せいただいた絶大なご援助に対し、厚く御礼を申し上げます。新設後日が浅く、まだ整わぬところもある浦安の学部ですが、お陰様で学生生活をより豊かなものにする事が出来ました。これからもご援助を一層有効に生かすよう工夫に努めたいと存じます。後援会の皆様のお知恵も是非拝借させて頂きたいと存じます。

学生の親御さんや親代わりの方と大学側とが交流の機会をもつ例はあまり多くないように思いますが、より質の高い教育と学生生活のためにこのような意志疎通の機会は極めて貴重なことと存じます。また後援会の会員同士の間にも強い連帯感が育まれることは、今の世の中には殊に大事なことに思われます。今回創刊の教育後援会だよりが、大学、学生、後援会を束ねる強い絆となることを期待いたします。

経歴 一九一九年(大正八年)九月東京生まれ。東京帝国大学を卒業し、その後二度ロンドン大学へ留学。一九六八年(昭和四三年)七月津田塾大学教授、一九八〇年(昭和五五年)十一月津田塾学長を歴任。一九八八年(昭和六三年)四月明海大学副学長、同外国語学部教授、翌年五月津田塾大学名誉教授。そして、今年四月明海大学学長に就任。

主な著書に「アメリカ英語の発音教本(共著)」「キャロル言語学と関連領域(訳註)」「ファースト言語論集Ⅰ・Ⅱ(訳註)」ほかがある。

会長就任にあたって



会長 白石 雅章

教育後援会だより創刊にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

平素は何かと教育後援会にご理解とご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。

浅学非才な私の様な者を多数の方々より心ある強いご推薦を頂き、会長に就任いたしましたことは私にとりましては、大変に意義深いものがございます。そして、私に課せられた期待の重さを強く感じております。時期世代を担う、そして当面私を支えて頂く新役員と共に、先は会員の皆様から喜ばれる会の運営に取り組み、共に汗を流してみたいと思っておりますので、皆様方のあたたかいご支援ご協力を心よりお願い申し上げます。

尚、初代会長初め、役員の方々のご指導を頂きお蔭で会も益々発展を遂げて来ましたが、役員並びに学校関係各位の方々のご尽力の賜物として会員一同にかわりまして深甚なる感謝の意を表すものであります。

会務に支障を来すことが些さかならず危惧されます。この点は、役員、会員および事務局の絶大なるご支援を頂くことにより、克服して行きたいと考えておりますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

終わりに明海大学浦安キャンパスの益々のご発展を祈り又、本会の会報が永遠に発刊されますことを念じてご挨拶にかえさせていただきます。

初代会長挨拶

岡本 長吉

「光陰は矢の如し」と申しますが、年の過ぎるものは早いものでございます。明海大学浦安キャンパスは開学以来六年を経過しました。そして昭和四十五年に城西歯科大学の創設以来を含めると二十四年になります。私は浦安キャンパス第一期生の父兄会会長を勤めさせて頂きましたが、その頃は組織も充分でないため活動もあまりできませんでした。この度、教育後援会だよりが発刊されることになり、大変喜んでいきます。

願わくば、会員の方々の相互連携はもとより学生諸君の向学の一助になる広報紙となることを祈念いたします。

終わりに、明海大学と共に、学校関係者そして教育後援会の皆様が益々ご発展になられますよう心からお祈り申し上げます。

第三期会長挨拶

黒田 学

盛夏の候、会員の皆様にはいかがお過ごしですか、この度は浦安キャンパス教育後援会だより創刊おめでとうでございます。教育後援会の幹事、会長と二年余り、微力ながらお手伝いをさせて頂きましたが、その期間学生時代を思い出す様な気分浸っている自分だった事に今更ながら苦笑致しております。多分息子よりも「明海大学」を愛しているのではと自負しております。又幸い住いも大学と同じ浦安ですので、親が子の成長を願う様に明海大学の益々の発展を期待しております。学生の諸君にも厳しい世の中が数年続くと思われませんがそれに伴って社会が必要とする人間の価値観が変わって来ております。この現実を履き違える事のない様人生を選択して下さい。

在任中は色々ご協力下さいましてありがとうございました。

評議員会が開催されました！



平成六年五月二十九日（日）評議員会が開催されました。まず審議に先立ち、学内見学が行なわれました。審議の場には、学校側から宮田副学長、宇田川経済学部長、足立事務局長、三田事務部長、長田就職指導室長等が出席し、平成五年度決算書、平成六年度予算案等が審議されました。全員の集合写真を撮り、その後にはパーティーが行われました。会場では、大東学長の挨拶に続き、卒業した役員に感謝状と記念品が贈られました。北は北海道、南は鹿児島からの評議員の方々のもと、大いに盛り上がりを見せました。

計 報

教育後援会第二期会長の安宅武男氏が六月十六日ご逝去されました。生前のご功績をしのび心からご冥福をお祈り申し上げます。

平成6年度一般会計予算書

自平成6年4月1日
至平成7年3月31日
(円)

収入の部

科 目	前年度予算額	本年度予算額
前年度繰越金	115,156,505	31,153,113
後援会会費	109,670,000	115,652,000
雑収入	6,081,615	2,194,887
合 計	230,908,120	149,000,000

支出の部

事業費	78,340,000	91,200,000
組織対策費 学生関係活動対策		11,500,000 79,700,000
会議費	2,500,000	5,250,000
管理費	25,200,000	15,400,000
一般管理 備品費 人件費		11,400,000 1,000,000 3,000,000
基本積立基金繰出	108,000,000	10,000,000
大学への寄付	15,000,000	21,000,000
予備費	1,868,120	6,150,000
合 計	230,908,120	149,000,000

平成6年度特別会計予算書

1) 特別会計借上住宅予算

収入の部

(円)

科 目	前年度予算額	本年度予算額
前期繰越金	0	6,337,390
一般会計繰入金	10,000,000	55,000,000
賃貸料	1,151,800	13,821,600
その他	3,505,250	101,010
合 計	14,657,050	75,260,000

支出の部

借上住宅基金	0	50,000,000
賃貸料	7,272,250	17,520,000
その他	7,384,800	7,740,000
合 計	14,657,050	75,260,000

2) 特別会計奨学金予算

収入の部

(円)

一般会計繰入金	0	55,000,000
合 計	0	55,000,000

支出の部

奨学金引当基金	0	50,000,000
奨学金引当	0	5,000,000
合 計	0	55,000,000

平成5年度 一般会計決算書

自平成5年4月1日
至平成6年3月31日
(円)

収入の部

科 目	予 算 額	決 算 額
会 費	107,556,000	103,532,000
受 取 利 息	6,081,615	3,663,840
前年度未収入会費	2,114,000	0
前年度繰越金	115,156,505	115,156,505
合 計	230,908,120	222,352,345

支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額
学生厚生費	15,000,000	8,844,610
教育・研究補助費	3,000,000	1,900,100
学友会援助	21,040,000	9,834,072
事務局整備費	4,500,000	2,185,859
特別補助費	21,200,000	7,708,436
卒業対策費	20,100,000	16,685,360
学内食堂援助費	10,000,000	5,222,590
学生診療費	500,000	0
就職活動補助費	3,000,000	2,946,632
旅費交通費	1,500,000	1,077,180
消耗品費	1,000,000	103,251
通信運搬費	2,500,000	328,653
印刷製本費	5,000,000	1,149,596
会議費	2,500,000	2,693,328
賃借料	1,200,000	1,422,944
業務委託費	5,000,000	360,500
人件費	3,000,000	2,679,649
基本積立金	108,000,000	125,000,000
雑 費	1,500,000	1,056,472
予備費	1,368,120	0
次年度繰越金		31,153,113
合 計	230,908,120	222,352,345

平成5年度特別会計借上集合住宅決算書

収入の部

(円)

科 目	本年度予算	決 算 額
平成5年度繰入金	10,000,000	10,000,000
賃貸料	1,151,800	1,151,800
諸経費	3,455,400	3,455,400
3月分日割分	49,850	49,850
計	14,657,050	14,657,050

支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額
賃借料	7,272,250	7,272,250
仲介手数料	1,000,000	1,000,000
会議費	100,000	0
事務費	50,000	17,200
交通費	5,000	1,320
雑 費	6,229,800	28,890
次年度繰越金		6,337,390
計	14,657,050	14,657,050

平成6年度年間予定表

自平成6年6月1日
至平成7年5月31日

-
- 1994年6月17日(金) 常任幹事会
8月19日(金) 常任幹事会・役員会
大学役職者との懇談会
10月15日(土) 常任幹事会・役員会
学友会・同窓会との懇談会
11月20日(日) 地区父兄懇談会
(北陸又は東北)
12月10日(土) 常任幹事会・役員会
1995年2月10日(金) 常任幹事会・役員会
3月25日(土) 常任幹事会・役員会
4月22日(土) 常任幹事会・役員会
5月27日(土) 常任幹事会
5月28日(日) 評議員会、懇談会
-

平成6年度役員名簿

自平成6年4月1日
至平成7年3月31日

-
- 役員
会 長 白石雅章
副 会 長 丹下 剛 貝原和年
幹 事 石井紀雄 松信 堯 中島角次郎
原 信之 柳田雅子 内藤征男
大竹靖夫 川口一郎 小畑美恵子
山田和夫 鈴木令一 小林勝利
軽部正信 秦 誠三
会 計 五十嵐 藏
監 事 野田雅子 柳下典世
名誉会長 岡本長吉 (本会初代会長)
名誉会員 黒田 学 (第三期会長)
-

大野幹夫先生の教育講演会について

大野幹夫先生による、海外留学を希望する学生や父兄のための教育講演会が、去る六月二十九日に、本学の二三〇一教室で行われました。大野先生は二十六年前に渡米されPh.Dの学位取得後、引き続きアメリカに在住されている日本人研究者です。現在ニュージャーシー医科大学準教授として在職され、研究教鞭の傍ら、日本人留学生の生活指導の役割を果たしておられます。講演の内容は、「アメリカからのメッセージ」ということで、アメリカの大学教育と日本人留学生の現状等について、スライドを中心に、とても判り易く興味深い内容の講演をして頂きました。受講者も、教職員を含め、八十名近くにのぼり、終始私語もなく、最後には沢山の質問が飛び出すなど盛況のうちに終えることができました。なお、今回の講演に際しましては、東京大学の講師でもあります、丹下副会長に、大変ご尽力頂きました。

事務局より

この度、教育後援会だよりを創刊するにあたり、大東学長、白石会長、岡本名誉会長、黒田名誉会員をはじめ様々な方々のご厚意により実現する事になり我々一同肩の荷を卸した心地です。故安宅事務長(本会名誉会員)も発刊に熱意を注いでおられたので喜んでいれることと思います。又、今年度は地方懇談会を開催する事になりました。もしご自分の都市に先生方を迎え懇談会を行ってみたい方は、事務局までご一報下さい。

〈事務局〉

吉村幸子

石井博子

電話〇四七三―五五―五一一二